

俱知安町特有の英語教育について

教育長 平成29年度は方向性を整理していききたい

木村

①外国人居住者が多い本町の特徴を生かし、地域外国人の方による英語教育や学校行事活動への参加が可能かどうか、それらの可能性について見解を伺う。

②各種英語技能検定は、英語に親しみや興味を持つきっかけづくりや、スキルそのものを身につけるには目に見える成果の一つとして有効と考える。また、英語検定資格を大学等の入試における学科試験の免除、入学金・受験料免除や英語科目の単



木村 聖子 議員

位認定など、優遇措置をしている学校があり、本町における各種英語技能検定の受験の促進について伺う。

教育長

①教員免許を持たない人が一人で授業を行うことはできないが、免許を持った教員と一緒に複数体制で指導することは可

能。ALTや地域に居住している外国人、留学生などのネイティブスピーカーに協力をいただくと、制度上は可能。また、放課後や休日等の教育家庭外の活動や社会教育の分野の活動に特に縛りはなく、子どもたちや住民の活動の幅が広まる可能性が出てくるものもあると考える。

②各種検定に対し町として助成は行っていない。目に見える成果として

次期学習指導要領を踏まえ、地域外国人の方々にも協力をいただき、学校のニーズを十分把握した上で本町ならではの地域資源とのコーディネートを図っていききたい。

②各種検定に対し町として助成は行っていない。

の実力の把握やスキルアップ、大学入試の優遇措置は目標を持って頑張る心を養い、将来の進路や職業の選択肢が広がるなど、メリットがあると考える。どのように取り組むのが効果的か検討しながら、助成制度などについては、他自治体事例などを参考に検討してみたい。

木村

2018年度以降、順次英語授業の必修化が小学校



俱知安ロータリークラブ主催の英語案内コンテスト

3年生からと引き下げられ、小学校5、6年生では教科化が予定されている。国としても2020年の東京オリンピックに向けて子どもたちの英語教育を加速していると感じる。

俱知安の子は英語すごいよねと言われる環境づくりを推進していただきたい。

教育長

平成30年度の次期学習指導要領の前倒し実施を国で検討しているのでもそのあたりに照準を合わせ、平成29年度は各学校とも十分な協議をし、どのような形で進めていくか方向性を整理していききたいと考えている。

一般質問 木村聖子



俱知安ロータリークラブ主催の英語案内コンテスト